

なみえの未来をともにつくります

 **なみえ**

議会だより

2008.11.1

No. **122**



9月定例会

9月定例議会……………P 2～8
一般質問 9人が登壇……………P 9～13
特集シリーズ……………P14
傍聴人インタビュー……………P16

平成19年度 決算



町道川原沢田線に歩道設置（苅宿地区）

- 平成20年第4回浪江町議会定例会が9月9日から24日までの16日間の会期で開催され、一般質問は9人が登壇して活発な質疑を交わしました。
- 今議会に提案された議案は、決算の認定、字の区域の変更、平成20年度浪江町一般会計補正予算など20の議案、議員発議による意見書、会議規則の改正2件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。
- 請願・陳情では、請願1件・陳情1件を採択し、陳情1件を不採択としました。

一般会計

歳入決算額71億3160万円で、前年度決算額に比較して4億4932万円（5.9%）の減少となった。歳出決算額は69億8533万円で、前年度に比べ3億8213万円（5.2%）の減少となりました。

主な事業

●移動通信用鉄塔施設整備事業（大昼地区）6318万円 ●土地改良・基盤整備促進事業（百間沢・八竜内外）1億3418万円 ●中山間地域等直接支払事業（集落協定等）4116万円 ●町道新設改良事業（川原沢田線外）1億4573万円 ●高速道路の整備促進

（文化財調査外）2248万円 ●e-まちタクシー運行事業補助金1290万円 ●英語指導助手招致事業（2名）1067万円 ●放課後児童健全育成事業（登録230名）2854万円 ●ふれあい教室（公民館分館で6学級42回）327万円 ●町史編さん事業（浪江町の民俗）680万円などがあります。

厳しい財政の中で
町民にどう答えたか



携帯電話通信鉄塔



決算の 認定

一般会計と特別会計を合わせた決算額は歳入総額 138 億 216 万円（前年比 1.1% 減）、歳出総額 135 億 5398 万円（前年比 0.5% 増）で形式収支は 2 億 4817 万円の黒字決算となりました。

一般会計では 1 億 4627 万円、9 つの特別会計は、1 億 190 万円となり各会計とも黒字決算となりました。（賛成多数で認定）

平成 19 年度 浪江町一般会計・特別会計歳入歳出決算

（単位：千円）

区 分		一 般 会 計	特 別 会 計	合 計
歳入総額	①	7,131,609	6,670,551	13,802,160
歳出総額	②	6,985,335	6,568,646	13,553,981
歳入歳出差引額 (①-②)	③	146,274	101,905	248,179
繰翌 越年 額度	繰越明許費	0	0	0
	事故繰越	0	0	0
	計	④	0	0
実質収支 (③-④)	⑤	146,274	101,905	248,179
前年度実質収支	⑥	209,308	252,265	461,573
単年度収支 (⑤-⑥)	⑦	△ 63,034	△ 150,360	△ 213,394
積立金 (財政調整基金)	⑧	200,000	0	200,000
繰上償還金	⑨	19,958	174,212	194,170
積立金取崩し額 (財政調整基金)	⑩	220,000	0	220,000
実質単年度収支 (⑦+⑧+⑨-⑩)	⑪	△ 63,076	23,852	△ 39,224

一般会計 決算質疑

津波訓練と無線のデジタル対策は

質問 津波の防災訓練のあり方、防災無線のデジタル化は進んでいるのか。
住民生活課長 本年9月に各種訓練を行いました。津波避難訓練や防災訓練はどうあるべきなのか、今後検討します。又、防災無線のデジタル化を進めます。

事故米が学校給食に使われたか

質問 学校給食に事故米が使われていたとの問題が報道されたが、給食用として利用された経過・実態・今後の対策は。
教育総務課長 浪江小学校を除いた8校で、利用・使用した事になっていません。カピ米を原材料にしたデンブで製造された11品目の中に混入されていたのではないかとということで調査が進められています。保護者に情報は提供しています。今後県の指導を受けながら調査対策を講じていきます。

行政区の見直しは

質問 権現堂などは合同でないとい体育会もできない。区はそのまま残し、複数の合同区にまとめることはどうか。
総務課長 権現堂の戸数が減少している。地域住民の声を聞きながら行政改革プランの中で見直しを検討していきます。

町民所得は増えたのか

質問 個人町民税は前年比で1億6117万円(27.5%)の大幅増となったが、町民所得は増えているのか。又、法人税は前年比3264万円(20.9%)の大幅減収はなぜか。
税務課長 個人町民税は、平成19年度の所得税から税源移譲により1億6000万円増えている。町民所得は全体的に減っているのが現状です。法人税の大幅減収は、企業業績の悪化によるものです。

省エネ導入の具体化は

質問 新エネルギー導入を平成26年度まで3%にするという目標と、その具体化は。
企画調整課長 一般家庭向けの太陽光発電の導入促進、公共施設での新エネルギー、公用車のクリーンエネルギーへの切り替え、学校における普及啓発、補助事

行革プランの実施状況は

質問 行政改革集中プ

畜産振興の方策は

業の導入促進を図ります。
質問 転作条件の整備と畜産振興、町有牛貸付けの拡大は。
産業振興課長 一般会計貸付牛は乳用牛1頭、肉用牛2頭、高齢者貸付牛の制度を運用し、要望に添うよう検討します。

公社の経営診断は

質問 浪江町が関係する公社経営の経営診断と経営改善の実態は。
総務課長 平成18年度にマリンパークといこいの村の経営健全化診断を実施。現在庁内検討委員会で審議中です。今後は統廃合も含めての検討が必要と考えております。

討論

反対討論

汚染米による学校給食への影響が明らかになった。浪江町教育委員会としては学校給食会からの納品ではあっても、食品衛生に違反する汚染米による加工品は、食の安全が根本から問われる問題である。浪江町の財政では三位一体改革のもと地方交付税等が前年比1億8100万円の減額となり、住民サービスの切り捨て、職員リストラ、町単事業の削減が行われた。

賛成討論

学校給食の問題や三位一体改革による部分はこの町でどうなることではない。厳しい財政の中で満足できる決算であり賛同します。

ランの実施状況について。

①町民サービスと総合窓口(なんでも相談)の設置は。
②臨時職員の現在数(19年度末)と、正職員との賃金格差は。
③保育部会・総務部会では何をどのように検討されているのか。

総務課長 ①町民サービスの向上を図るため住民係では、第2・第4木曜日の午後7時までの延長業務の実施。年末・年始は住民窓

口の期間延長で対応しております。総合窓口設置は検討中であります。
②臨時職員は、保育所の代替・パートを含め現在88名です。賃金は事務・技能職・単純労務・看護職で賃金体系が異なり、6100円から1万2000円の範囲で支給しております。
③保育所と幼稚園の一貫教育の体制づくりの検討と、総務部会では事務事業の見直しを含めた検討をしております。

特別会計

決算質疑

国民健康保険 事業特別会計

歳入総額は22億7665万円、前年度より4・4%増。歳出では22億731

4万円で前年度対比1億9324万円、9・3%の増となりました。

過年度分とあわせた国保会計の未収額は2億8814万円となりました。

老人保健 特別会計

75歳以上の老人及び65歳以上で障害認定を受けている老人の医療給付事業です。歳入総額2億704万円

(対前年度比3・4%減)、歳出総額20億702万円(対前年度比0・9%減)で、差引き2万円の黒字決算となりました。

19年度末の年間延べ受給者数は3万5901人、前年度比1644人減であった。一人当りの医療給付費は66万1821円(前年度より3万1030円の増)となりました。

公共下水道 事業特別会計

歳入総額9億3530万

円、歳出総額9億1333万円、差引き2197万円の残額となっております。下水道管布設事業は田尻、幾世橋地区で行なわれ、並行してマンホールポンプ及び汚水桝等の設置工事を行った。事業費は3億1999万円、下水道維持管理費は6381万円となっております。

借入金返済は事業収入の3・6倍、事業の見直しを

質問 本年10月1日から下水道料金は大幅値上げとなります。

下水道事業は一般会計繰入れに依存してきた結果、借入れ残高は45億になってしまった。

事業収入は1億4000万円なのに19年度の借入れ返済は5億円で事業収入の3・6倍、建設投資は3億2000万円で同じく2・3倍になっている。結果、料金値上げということになった。事業の見直しが問われている。

上下水道課長 現在、元

利合計で3億3000万円返済しています。

料金値上げで年間2300万円の増収となります。

今後は返済額を超えないよう抑制してゆきます。

質問 合併処理浄化槽の方が処理コストは安い。

合併処理浄化槽との併用など大胆な見直しをしないと、事業会計の負担が大きくなるばかりです。下水道

事業の見直しは。

町長 今までのやり方を見直していきたいと思

います。

討論

反対討論

右肩上りの時代ではないということを知りながら現実の事業経営に見合った修正をしてこなかったことが、平成20年度の大規模な料金値上げになった。過大な投資による過大な負債を残した行政運営を認めるわけにはいかない。

賛成討論

下水道事業の見直しをするという答弁もありました。今までの管渠を延ばした工事であり止むを得ない決算であり賛成します。

介護保険事業 特別会計

歳入総額12億6520万円(対前年度比9・1%増)、歳出総額12億1866万円(対前年度比9・1%増)となりました。

給付費のうち、居室サービス給付費が5億5586万円(対前年度比7・5%増)施設サービス給付費が4億7783万円(対前年度比10・6%増)となった。



元気いっぱい

水道事業会計

決算質疑

○給水の概要

給水人口1万9589人、給水戸数6712戸。

○事業の収益

事業収入は3億6759万円、前年度比562万円(1.6%増)。支出は3億2435万円となり、4324万円の収益決算となった。(賛成多数で認定)

小高区に対する用水供給事業計画の進捗は

○質問

昨年、決算議会で、小高区に対する水資源計画を20年度中に作成し、1日6340トンの供給事業を進めたいと答弁されたが、進んでいるのか。
上下水道課長 南相馬市小高区から用水供給について文書で依頼がありまして、現在、県も入った水資源対策調査委員会で協議中です。今年度中の水源調査を進めます。

条例の改正

こどもの医療費の無料化を9歳まで拡大

○浪江町国民健康保険条例の一部改正について

就学前までの乳幼児医療無料を10月1日から9歳まで拡大するため。
(全会一致で可決)

暴力団入居を規制

○浪江町営住宅等条例の一部改正について

入居者の資格の整理、及び暴力団員の入居を規制するため。(全会一致で可決)
○地方自治法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
(全会一致で可決)



お母さんといっしょ

○一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

(全会一致で可決)

○浪江町教育委員会の委員の定数に関する条例の制定について

教育委員会の委員会体制の充実を図るため、委員の定数を6人とするものです。
(賛成多数で可決)

○質問

委員定数5名を6名とする理由について、現在の5名体制で充実できないのか。定数増加で財政健全化に逆行するのではないか、又選任の基準はあるのか。
町長 教育はまちづくり・地域づくりであります。

当町は広範なエリアで地域毎に多様な文化があります。社会的に豊富な経験を有する方、あるいは女性の登用など教育行政の充実発展のために、適材適所の人事を進めるような組織体制にします。

を行うものです。

(全会一致で可決)

質問 職員の自己啓発休業という形での参加、職員の自主性を尊重する対応なのか。

総務課長 職員自ら申請した場合において、任命権者がその公務に関する能力の向上に資するため自主性を尊重しながら派遣するものであり、大学等の教育施設への派遣もこの中に含まれております。

○職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について

独立行政法人国際協力機構法の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正

同意した人事案件

○特別功労者の決定について

第37回町表彰式において表彰される特別功労者として、次の2名の方々が顕彰されることについて全会一致で同意しました。

(故)横山 一さん(棚塩)

町議会議員として地方自治の発展に尽力された功績により

大森 章さん(北幾世橋)

警察官として県民の治安維持に尽力された功績により

○教育委員会委員の任命について

次の2名の方々について全会一致で同意しました。

1 大越 たか子(酒田)

現在、浪江町教育委員会委員。10月31日で任期満了となるため。

2 星 大子(小野田)

委員定数の増加に伴うため。

補正予算

○平成20年度浪江町一般会計補正予算(第2号)

地方交付税、繰入金及び平成19年度決算による繰越金の確定により、1億9683万円を追加し、総額を72億5239万円としました。

歳出の主なものは財政調正基金への積立金1億円、児童福祉費606万円、道路橋梁費3341万円、予備費2463万円などです。(賛成多数で可決)

鳥獣被害対策の体制強化を、どう進めるのか

質問

被害が大きい。捕獲作戦をもつと効果のあるものにするためにも、体制強化を図るべきでないか。

産業振興課長

浪江町の捕獲隊は現在19名。今の体制ではかなり大変なので、鳥獣被害対策協議会を7月

に立ち上げました。どういう体制と方法がいいのか、煮詰めていきます。

○平成20年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

平成19年度事業確定等による補正で、2570万円を追加し、総額を22億2745万円としました(全云二致で可決)

○平成20年度浪江町老人保健特別会計補正予算(第1号)

平成19年度事業確定等による補正で、4792万円を追加し、総額を2億9402万円としました。(全云二致で可決)

○平成20年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

平成19年度事業確定等による補正で、2942万円を追加し、総額を9億524

1万円としました。(全云二致で可決)

○平成20年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

平成19年度事業確定等による補正で、3512万円を追加し、総額を13億6000万円としました。(全云二致で可決)

○平成20年度浪江町水道事業会計補正予算(第2号)

収入は、水道事業収益に535万円を追加し計3億4268万円としました。支出は、水道事業費用に436万円を追加し計3億1297万円としました。(全云二致で可決)

○字の区域の変更について

津島地区及び下津島地区のほ場整備の成果による。(全云二致で可決)

○双葉地方土地開発公社定款の変更について(全云二致で可決)

その他の議案

○浪江町駐車場等の指定管理者の指定について

浪江町東駐輪場・西駐輪場及び東駐車場の利用については、無法駐車の状態にあることにかんがみ、指定管理者の指定をもって取り組みたいということで公募

の結果、「株式会社東遊記」を指定管理者として指定。本年10月1日より平成23

年9月30日まで協定を結んで実施するというものであります。

東駐車場の駐車台数は53台(内、月極め有料38台、無料15台(2時間以内))、

皆さんから提出された請願

〔採択された請願〕

○原油・原材料価格高騰に関する請願書
〔請願者〕相双民主商工会長 紺野 重秋

〔採択された陳情〕

○防火水槽撤去及び消火栓設置に関する陳情書
〔陳情者〕加倉行政区長 渡邊 隆

〔不採択とされた陳情〕

○「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情
〔陳情者〕日本熊森協会長 森山まり子

議員発議の意見書

○農業・漁業・中小企業等原油・原材料価格高騰の支援に関する意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
経済産業大臣
農林水産大臣
国土交通大臣
(全云二致で可決)



をもって公営施設の有効利用を図るものであります。駐輪場の利用はこれまでどおりです。(賛成多数で可決)

議員発議の動議

○浪江町議会会議規則の一部改正について

改正の理由

地方自治法の改正に伴い、議会は議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場を設けることができる。

具体的には 本会議、委員会審査とは別に、議会活動としての全員協議会を浪江町議会会議規則に規程し、そのルールで運営される。
(全会一致で可決)

○浪江町議会議員定数調査特別委員会の設置を議題とする動議

提案理由

浪江町議会議員定数調査特別委員会設置。

目的

議員定数の調査のため、委員定数は20名とする。

反対討論

私はこれまでの議会で討論してきた内容がここで大

きく食い違つてると思いますが、今のままでは私は動議者に対して信用を持ってない。

結果

無記名投票での採決により、反対多数で否決。



特別委員会委員の辞任・選任

○議会報編集特別委員会委員の辞任

小黒敬三委員、泉田重章委員、渡邊文星委員から辞任届がありました。

結果

異議なしにより、許可されました。

○議会報編集特別委員会委員の選任

3名の委員辞任に伴う後任委員の選任です。
馬場績議員、勝山一美議員、渡部貞信議員を選任しました。

委員会において、委員長に馬場績議員・副委員長に紺野榮重議員を互選しました。

○副議長不信任案の動議

提案理由

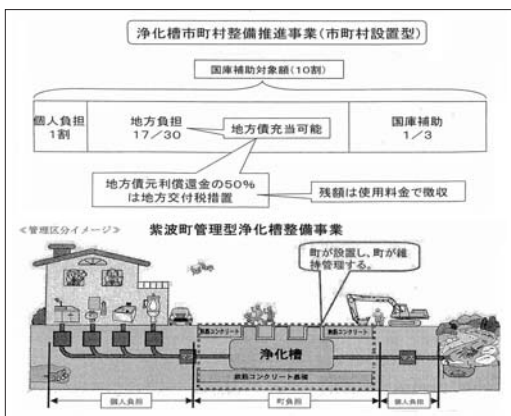
なみえ議会だより121号の記事に対し、副議長の判断で一部変更・削除したことに伴い委員3名が辞任した。

結果

無記名投票での採決により、賛成多数で可決。
一連の行動は副議長としての職責にふさわしくなく、不信任案を提出する。

第4回 定例会の採決状況

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
第85号	計補正予算(第2号)	原案可決	第19号	浪江町議会会議規則の一部改正について	原案可決
第84号	浪江町水道事業会計決算の認定について	認定	第18号	農業・漁業・中小企業等原産品・原材料価格高騰の支援に関する意見書(案)	原案可決
第83号	決算の認定について	認定	第11号	防火水槽撤去及び消火栓設置に関する陳情書	採択
第82号	浪江町駐車場の指定管理者の指定について	原案可決	第1号	「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然復元と被害防除に使うこと等求める意見書提出に関する陳情	採択
第81号	双葉地方土地開発公社定款の変更について	原案可決	第3号	「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然復元と被害防除に使うこと等求める意見書提出に関する陳情	採択
第80号	浪江町国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	第93号	教育委員会委員の任命について	同意
第79号	浪江町営住宅等条例の一部改正について	原案可決	第92号	教育委員会委員の任命について	同意
第78号	職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について	原案可決	第91号	特別功労者の決定について	同意
第77号	浪江町教育委員会の委員の定数に関する条例の制定について	原案可決	第90号	平成20年度浪江町水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
第76号	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	第89号	平成20年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第75号	字の区域の変更について	原案可決	第88号	平成20年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第74号	地方自治法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	第87号	平成20年度浪江町老人保健特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第73号	地方自治法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	第86号	平成20年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決



一般質問 町政と問

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員3件までの質問、答弁をそれぞれ550字以内に要約しておりますので、ご了承願います。

公共下水道整備計画の見直しに着手
質問 町財政を考慮したとき、公共下水道整備を今後も計画通り進めるのか。
町長 町の財政、社会経済の変化に応じて効率的な事業を行います。

質問 市町村設置型の合併浄化槽システムをどう考えるか。
上下水道課長 関係資料など情報の収集に努め今後研究してまいります。
質問 岩手県紫波町のPFI事業を導入した「管理型浄化槽整備事業」をどう見るか。
町長 財政難な折、このPFI手法は、初期投資も抑えられ維持管理の負担

質問 国土交通省のメニューに、地域公共交通活性化・再生事業があり関係市町村で協議会を作れば、実証運行に1/2の補助が

質問 幾世橋グラウンド**利用者の目線に立った体育施設の整備を計れ**

生涯学習課長 財政や周辺住民への配慮、照度不足による事故の管理責任など今後の課題として検討します。



小黒 敬三 議員

A Q
公共下水道整備を今後も計画通り進めるのか
町の財政、社会経済の変化に応じて効率的な事業を行います

住民生活課長 公営に限らず第三セクターとか、今お質しの方法等、効率的なものを選択します。
町長 奥会津バス共同運行検討会などを参考にし、管理者会(広域圏)で検討するように提案いたします。

には立派なナイター設備が有るにも関わらず、町民有志が取り付けた簡易照明設備が有ります。これは普段の練習にはお金がかかり利用できないという事の証明です。ふれあいセンターグラウンドに財政負担も軽い簡易照明設備を取り付ければ、スポーツイベント、夜間の災害対策にも有効では。

9議員が質問

- **小黒 敬三 議員**
 - (1) 財政と環境にも配慮した公共下水道及び合併浄化槽推進の今後の計画は
 - (2) 広域をカバーする小型路線バスを国、県、路線市町村と事業者で運営するような方法を考えられないか
 - (3) ふれあいセンターグラウンドに簡易照明設備を設置する考えは
- **橋爪 光雄 議員**
 - (1) 電力消費対策について
 - (2) 行政コスト削減について
 - (3) 地域活性化について
- **田尻 良作 議員**
 - (1) 農業政策について
 - (2) 地域の伝承文化について
- **佐々木 茂 議員**
 - (1) 過去の質問の進捗状況について
 - (2) 社会資本施設の維持と管理は
 - (3) 高齢者対策への提案
- **渡邊 文星 議員**
 - (1) 損害賠償請求住民訴訟事件の総括質問
 - (2) 会議録の作成・保存について
- **鈴木 辰行 議員**
 - (1) 原油高騰による農業・農家対策について
 - (2) ふるさと納税について
 - (3) 町民の医療充実対策について
- **泉田 重章 議員**
 - (1) 農業政策について
 - (2) 教育について
- **佐藤 文子 議員**
 - (1) 公共施設の整備について
 - (2) 子育て支援について
 - (3) 児童、生徒の通学路の安全対策は
- **馬場 績 議員**
 - (1) 町民の生活危機と、その対策、支援について
 - (2) 後期高齢者医療制度の実態について
 - (3) 食料、飼料自給率向上と地域農業のあり方について
 - (4) 地域医療の拡充と子育て支援について
 - (5) 森林再生と鳥獣害対策について
 - (6) 町道中平・白追線及び津島五山の道路整備について
 - (7) 津島公民館移動図書館の活用について
 - (8) 原発の安全と維持基準、定検延長の問題について



橋爪 光雄 議員

Q クールアース・デー（地球温暖化対策の日）の推進計画は来年度から夜間照明の消灯に積極的に取り組みます

A ト、小学校6校44万4831キロワット、ふれあいセンターなみえ・コスモス幼稚園41万4311キロワット、津島活性化センター4万7220キロワット、防犯灯は、現在2221基設置、消費電力は月当たり約5万8000キロワット。年69万6000キロワット。電気料金は平成19年度一般会計で約5800万円です。

「もったいない」の精神を

質問 公共施設・街灯・防犯灯の平成19年度の電力消費実態は。

総務課長 本庁40万3684キロワット、中学校3校61万9512キロワット

質問 クールアース・デー（地球温暖化対策の日）の取り組みは。

町長 来年度に向けて、役場庁舎を含めた公共施設・民間企業へも広報等

質問 観光交流人口対策は。

町長 観光客が求める観光ニーズを絶えず把握し、新しい視点から地域資源を観光に活用した観光振興を進めていきます。

質問 観光場所に飲食

を通じて呼びかけ、夜間照明の消灯に積極的に取り組みます。

全国に発信できる観光名所づくりを

質問 観光交流人口対策は。

町長 観光客が求める観光ニーズを絶えず把握し、新しい視点から地域資源を観光に活用した観光振興を進めていきます。

質問 観光場所に飲食

場所・トイレ設置及び駐車場拡幅の取り組みは。

産業振興課長 陶芸の杜おおぼりは、通年を通して核となる観光施設ですので、駐車場の増設・整備については、関係者と協議をして検討していきます。

屋外トイレについては、町としても必要性を感じています。補助事業等で進めていきます。



大せとまつりでにぎわう（陶芸の杜おおぼり）



田尻 良作 議員

Q 耕作放棄、遊休農地の解消を図れ

A 耕作放棄、遊休農地の実態は。105haの耕作放棄、遊休農地があります。発生の原因は農業従事者の高齢化、生産性の低下、農地の借り手、受け手がなく、土地の条件が悪いなどが考えられます。

正により企業の参入が可能になりましたが、担い手保護の立場から積極導入はしません。

質問 関係機関を含めた町全体の取り組みが必要では。

産業振興課長 農業委員会との連携による全体調査が終了次第、平成21年度から解消計画の取り組みを実施します。

産業振興課長 再認定が必要な認定農業者の農業経営の見直しや、集落営農による生産組織への加入参加などについて今後検討します。

問題があります。

質問 集落の象徴である獅子舞神楽の継承保存の支援策は。

教育長 地域に暮らす方々には極めて大事なものと認識しています。文化及びスポーツ振興助成事業制度の中で支援があります。

質問 町中の神楽を一同に会して披露する場の企画はあるか

教育長 神楽に対する関心、保存会の意識の高揚をはかるべく検討します。



耕作放棄・遊休農地の解消を図れないか

質問 耕作放棄、遊休農地の実態は。

産業振興課長 町全体で105haの耕作放棄、遊休農地があります。発生の原因は農業従事者の高齢化、生産性の低下、農地の借り手、受け手がなく、土地の条件が悪いなどが考えられます。

質問 解消の取り組みは。

産業振興課長 解決策は、特定法人への貸付事業、集落営農の推進、担い手農家への利用集積の取り組み。中山間地域に於いては、中山間地域直接支払い制度などの活用で解消推進を図ります。

質問 企業の参入も選択肢として考えられるか。

産業振興課長 法律の改

農業支援センター 担い手育成の支援策は。

獅子舞神楽の保存について

質問 町内の獅子舞神楽の活動実態は。

教育振興課長 平成17年現在の報告によると町内には19の集落での活動があります。

各地区の多くが継承者の高齢化による後継者不足の

問題があります。

質問 集落の象徴である獅子舞神楽の継承保存の支援策は。

教育長 地域に暮らす方々には極めて大事なものと認識しています。文化及びスポーツ振興助成事業制度の中で支援があります。

質問 町中の神楽を一同に会して披露する場の企画はあるか

教育長 神楽に対する関心、保存会の意識の高揚をはかるべく検討します。



佐々木 茂 議員

Q 津島地区の地デジ対策はどのように対応されているか

A 津島松森山周辺にNHKが中心となって、VHFからUHFへ中継局を整備する計画です

応は。

建設課長 町内のパトロー

質問 津島地区は、共同受診アンテナを一元化して利用できないか。

企画調整課長

現在の自主共聴施設で受診できなくなる場合は、NHKなどが相応の負担をするよう提言されています。

質問

宮田小熊田線・藤橋工区の進捗状況は。

建設課長

エスエス製薬や藤橋地区の利便性を図る上で目標通り計画を遂行します。

質問

産廃不法投棄に對しての行政側の対応は。

住民生活課長

産廃の不法投棄情報に対して、スピーディに対応したい。又、原因企業に対しては、告発やその対応を庁内協議するつもりです。

質問

社会資本の整備について公共投資が落ち込む中で道路、橋梁、砂防ダム等経年化つまり耐用年数が過ぎている、その対策対

町内のパトロー

ルを通して実情の把握に努めている。老朽箇所等があれば予算とにらめっこしながら対応したい。国や県に對しても要望し、計画的に対応していきます。

質問

高齢者や障がい者対策への提案として、清と暮せ生涯学習の点から

老人大学の設立、更に老人や障がい者の起居世帯や2人暮らしの世帯に對して

役場職員が定期的に訪問し実情を把握し行政が支援する体制を取って欲しい。

教育長

町内では様々な趣味や教養社会活動のサークルがあり活動してい



砂防ダムの機能を果たしているか

る。体系的に大学と呼ばれる様な組織と生涯教育ができるか研究してみたい。

健康福祉課長

アイネットや友愛事業を行って成果も上っていると考えている。さらに良い方法があれば他自治体の動向を研究しながら町民福祉の向上に尽力します。



渡邊 文星 議員

Q 一年半に亘る住民訴訟が和解したが行政としての総括は

A 一部関与しており率直に非を認める。今後は、信頼関係を構築するため積極的に説明責任を果します

質問

住民訴訟が和解したが行政としての総括は如何に。また、和解条項の取り組みは如何に。

総務課長

広報なみえ8月号に掲載してある町長所見(別途掲載)の考え方で取り組みます。また、和解条項は、職務専念義務違反の監督、補助金支出以外の経費負担をしない等を今後の行政執行で取り組みます。

質問

特別職(区長を含む)の懲戒処分は、地方自治法施行規程で出来ると考えられます。今回の裁判における区長会長・副会長の証人陳述は、その職責に相応しいとは思われない。

市町村吏員懲戒審査委員会の条例をつくり、懲罰に当るかどうかが審議する考えはあるか。

総務課長

懲戒審査委員会の必要性は認めるが、現状、懲戒処分は無理と思われる。懲戒処分のあり方に

ついては、区長会規約を含めて、今後研究してまいります。

付属機関の審議会・委員会等の会議録作成の意義は

質問 『町民の知る権利』である情報公開条例に基づく請求に對し、公文書不存在という摩訶不思議な行政が存在している。付属機関である法令審査委員会の会議録は作成されているのか。

総務課長

規程上、会議録等の作成について規定が無いため作成していません。

質問

会議録不存在は、情報公開と説明責任の立場では行政側は都合がよいが町民側では全く不都合です。会議録を作成すべきでは。

総務課長

今後審議概要や論議の焦点事項の要点筆記を致します。

所感

浪江町長 馬場 有

介護保険施設建設促進に係る署名活動について、住民監査請求及び住民訴訟は前記のように和解しました。従来、浪江町は、質問に對する回答書において、一貫して署名活動への一切の関与を否定しておりました。しかし、私が検証したところ、少なくとも文書の作成、印刷、発送等に関わった事実があり、率直に非を認めます。なお、これまでの質問書に對する回答において、不明確な表現があったことをお詫び申し上げます。

また、行政区長の委嘱手続きについては、指摘を受けて曖昧なところを改め、推薦書を提出していただくことにいたしました。

私は、今後の行政は住民との協働により進めるものと認識しており、行政無謬説を排し、パートナーである住民と率直に意見を交換し、信頼関係を構築するためにも、積極的に説明責任を果たすべきものと考えております。

広報なみえ8月号掲載の町長所感



鈴木 辰行 議員

Q 原油高騰による農業・農家対策は A 町単独での助成は困難です

**肥料・資材の急激な
値上げ。
町の対応は。**

質問 急激な農業資材の高騰で、農家はこれからの農業経営に不安と生産意欲さえ無くし兼ねない現状です。町の対策は。

産業振興課長 政府は6月に緊急対策閣僚会議を開催し、その中に農業対策も盛り込まれております。現在まで具体的な詳細は公表されていませんが、燃料費で2割以上省エネした場合に助成する話が出ております。町では生活用品も含め、すべてが値上がりする中で、町単独で農業への助成は難しい所です。肥料の値上げ対策として、町にある2つの堆肥センターを有効活用してさらに助成金の

拡大を検討します。

「ふるさと納税」 町の取り組みは

質問 ふるさと納税については各市町村で独自に取り組んでいます。我が町でもこの納税の意義、郷土への思い、それらを含めた目的税としてアピールが必要であると考えますが。

総務課長

制度が開始された今年の5月からホームページに掲載しており、また町内の宿泊施設等にもポスターでアピールしている所です。現在まで5件計18万円の寄付がございました。この寄付金をどのように使わせていただくか早急に検討します。

町長 在京浪江会等の発足を早急に検討して行きます。

県立大野病院と双葉 厚生病院の統廃合は

質問 当町の医師不足

が指摘される中で、救急医療・小児科・産婦人科の医療体制はどのようにされるのか、このような現状に県立病院と厚生病院の統廃合が検討されていると聞きますが。

子育て・健康増進課長

平成20年1月から7月までの救急要請における搬送状況は418人で、1回で受け入れられたのが300人、2回以上が118人で、そのうち多い回数では、14回が1人、9回が1人です。

町長 医療施設に対する手当として、通院バスの検討・調査をします。県立



統廃合が検討されている双葉厚生病院

病院・厚生病院については課題を解決して、今のままで存続することを強く望んでおります。



子供の携帯電話の利用を考えよう



泉田 重章 議員

Q 子供の携帯電話の利用に強く求める ものは何か A 子供をネット被害から守るのは家庭 しかありません

質問 携帯電話利用のその後の指導状況は。

教育総務課長 7月に全教職員対象に講演会を開き意識発表も行いました。

教育長 基本的には小中学生に携帯電話はいりません。インターネット接続ではフィルタリングをかけ、使用状況を把握すべきです。

米の生産費と販売価格が逆転し農家経営は赤字となったが打開策は

質問 飼料米の当地での有効品種導入試験が必要と思うが実施の考えは。また推奨品種名と収穫量、補助金の額はいくらか。

産業振興課長

試験は畜産農家の要望があれば農業改良普及所等と検討します。品種は「ゆめあおば」等、収穫量は10a当たり1500kgで、補助額は担い手・団地化等で平成20年度4万7000円です。

質問 収益アップには米等販路の単純化が必要と

思う。直売所等の成果も含め今後の推進の方向性はどうか。

産業振興課長

直販にすれば販路拡大の知識等が必要です。お盆中、いこいの村においてサンサン夢広場の地場産品直売は盛況でした。

町長 商工農業の連携が必要であり、地元を向けイベントへの出店を促します。

質問 平成21年度から学校給食制度が改正される。地産地消・食育の面でどう変わるのか。

質問 農業にも労働保険が必要であり一人を雇えば加入要件が発生する。調査の上指導・推進すべきでは。

産業振興課長

集落営農組合では個人で加入可能であり、農業法人は義務となります。

農業経営にも労働災害 保険は必要です

教育総務課長

地域の食材を3割以上使います。地産地消推進会議で供給可能食材を毎年2月に検討します。



佐藤 文子 議員

Q 現状の第1・第2体育館は古くて、地震災害のときに大丈夫なのか
A 老朽化が進み、現時点での耐震診断は受けていません

質問 体育館はスポーツ使用ばかりでなく、災害時の避難場所として重要な施設だが、老朽化の進んだ今の体育館では心配だが。

町長 総合体育館の建設計画が急がれます。このほど公共事業評価委員会に諮問したところです。

質問 サンシャインなみえのトイレのバリアフリー化の計画は。又、舞台や照明、更衣室の整備計画は。

産業振興課長 トイレ入口のバリアフリー化と洋式トイレの設置を急ぎたいと考えています。又、舞台や照明、更衣室の改修はいまのところ考えていません。

町長 サンシャインなみえの舞台等に関する改修は中長期的に考えていきたいと思えます。

妊婦健診・乳幼児医療

質問 妊婦健診無料の回数引き上げは。今後回数無料化の計画は。

子育て健康増進課長 今年度から2回から8回に引き上げて無料にしています。全回数無料化は予算の問題もありますので、今後検討していきたいと思えます。

質問 乳幼児医療無料化の年齢引き上げは。

保険福祉課長 本年10月から、9歳（小学3年生）までの引き上げを実施します。

通学路の歩道整備

質問 旧国道に架かる高瀬橋と

請戸橋の通学路の歩道整備は。

建設課長 高瀬橋の方は平成24年度歩道整備が完成する予定です。請戸橋の方は本年度新規事業として県に採択されましたので、地権者説明会が8月26日に開催されたところです。



老朽化の進む第2体育館



馬場 績 議員

Q 公共料金値上げ（上下水道料金）は凍結せよ
A きびしい社会経済のもとで心苦しいが御理解を

今回の大幅値上げに対する町民の声を紹介する。

「決まった仕事が見つからない。町民税や国保税の支払えさい大変なのに」
 （60歳男性）

「現在の上下水道料が月7000円。食べ盛り、遊び盛りの子供がいる。夫は体弱い。自分のパート収入も月5万円にもならない。なにもかにも値上げでこれからは心配」
 （親子5人暮らしの母親）

質問 「節約も限界」というのが町民の声。料金値上げの中止、緊急対策として手数料値上げに止め、値上げの凍結を。

上下水道課長 6月議会でも承認され料金改定のチラシを配布したところです。

質問 ライフラインの確保を語るなら、一般家庭と同様に大口需要者の料金も引き上げるべき。

上下水道課長 企業誘致

を推進していることから、負担軽減を図ったところですが。

を推進していることから、負担軽減を図ったところですが。

高齢者医療制度への怒り、廃止の声は、生きることに訴え

質問 この制度の廃止・見直しを求めている医師会は、全国35都道府県。この制度による町内の「担当医」届け出は。

妊婦健診と子育て支援の充実は

子育て健康増進課長 ①14回まで無料健診にした場合、480万円の増。②第3子以降、3歳未満児の保育料軽減を図るべく事業申請しました。

浪江町内にある15医療施設では届け出はありません。

浪江町内にある15医療施設では届け出はありません。



廃止を求める声はやまない

国道114号浪江拡幅事業は、市街地の交通混雑の解消と景観の形成を目的にして整備が進められており、常磐道のアクセス道路としても位置付けられています。

「第1工区」は平成12年度に着手し、8年を経過しますが、用地補償が済み、19年度より道路本体工事に着手され、浪江ICの供用開始となる平成23年度に完成予定で推進しております。

国道114号浪江拡幅「第1工区」

- 事業名 国道改好事業
- 事業区間 浪江町大字権現堂地内
- 延長 L = 700m
(全体 2,110m)
- 幅員 W = 13m
(全体 30m)
- 総事業費 76 億円
- 事業年度 平成 12 ~ 23 年度



①買収前の国道114号

拡幅事業の主なる経過

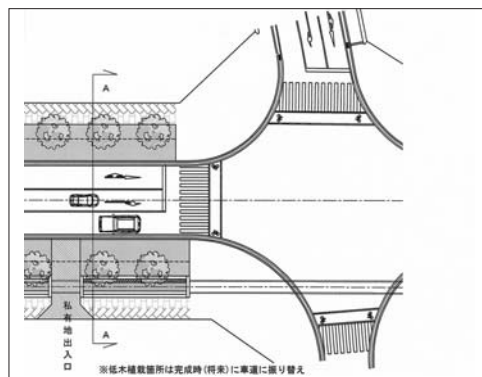
- H7年 相双建設事務所による説明会
114号整備促進代表者会設立
- H8年 アンケート調査
条件付賛成51%、賛成21%、
反対15%
- H12~18年
第1工区用地補償が完了
- H19~23年
常磐自動車道23年度供用が
予定、それに併せて本格的な
工事に着手



②現在の国道114号

第2工区

- H20.1.17 県知事要望
国道114号拡幅特別委員会による、第2工区の早期
整備の要望



③将来の国道114号(交差点)



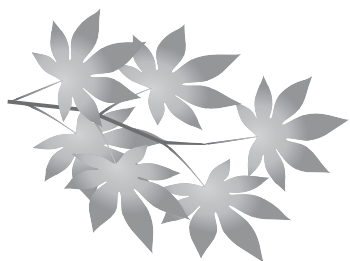
④国道114号浪江拡幅事業概略図

お詫びと訂正

「8月1日発行の121号」で、次の間違いがありましたのでお詫びして訂正させていただきます。

11頁、佐々木茂議員の一般質問に対して、企画調整課長が答弁した箇所。

「現在、早期対策として津島と葛尾地区を含めてUHF中継基地の設置を計画している。」ではなく、「現在、放送事業者においては早期対策として津島と葛尾地区を含めてUHF中継基地の設置を計画している。」でした。



議会活動の近況

8月

1日	議会報編集特別委員会
6日	全員協議会 国道114号拡幅促進特別委員会
8日	議会報編集特別委員会
12日	議会報編集特別委員会
18日	広域圏・保健衛生常任委員会
19日	広域圏・消防厚生常任委員会
21～22日	国道114号拡幅促進特別委員会視察研修
22日	広域圏・総務常任委員会
25日	広域圏・議会運営委員会
29日	広域圏・定例議会

9月

2日	議会運営委員会
5日	全員協議会 産業・建設常任委員会
9～24日	第4回定例議会

10月

2～3日	地域共生型電源開発特別委員会視察研修
6日	議会報編集特別委員会
17日	議会報編集特別委員会
20日	町村議会議員研修会（郡山市）
24日	議会報編集特別委員会

表紙用 写真募集



「なみえ議会だより」の表紙に掲載する写真を募集します。

◆資格
町内在住、町内に通勤・通学の個人。

◆テーマ
町の話題・躍動感(人物)と季節感のあるもの。

◆掲載
編集委員会で選定。

◆期日
年4回。
4・7・10・1月の5日
締切。

(発行は、5・8・11・2月の1日です。)

◆問い合わせ
議会事務局

☎0240-3410254



122号
表紙より

家族そろって収穫の秋

写真提供：馬場靖子さん

傍聴人インタビュー



9月議会傍聴人：延べ人数 51人
気軽に傍聴してください。



山崎 安男 さん
(権現堂)

『議員の定数削減』議論は、
議員のためですか！
町民のためですか！

●傍聴のきっかけは？

『議会議員の定数削減』の陳情書を提出したので、その議論の確認とそのゆくえを確認するため。

●傍聴された感想はどうでしたか？

特に、『議会議員の定数削減』の議案は、陳情書は採択されたが、それを論議する場である、特別委員会設置が否決となり、総論賛成、各論反対では、議員の資質を疑います。

●議員に対する要望がありますか？

議会は、議員のための議会ではなく、町民のための議会であるべきです。

『議員の定数削減』の議論に関し、町民への説明責任を果たして欲しい。

●議会や町政に対する要望がありますか？

財政が厳しい中、議会も行政も英知を結集し、町民福祉が低下することのない前向きな議論をしていただきたい。

議会情報公開条例による施行状況の公表

- 平成19年度の議会情報公開の状況を公表します。
- 1、請求件数 — 6件
 - 2、決定等件数 開示件数 — 6件

編集後記



黄金色の稲穂が風に揺れている。秋の取り入れの忙しい季節ではあるが、収穫の期待と喜びの季節でもある。科学が発達したとはいえ米を作ることはまだまだ自然の恩恵を受け又自然に左右される。私の地域では9月1日に「おひまち」という行事がある。これは立春から210日にあたり、部落の方々が集まり台風災害がありませんように、五穀豊穣でありますようにと酒を酌み交わしながら懇親を交わす行事である。

この甲斐あつてか今年 は台風の本土上陸もなく 台風被害のない年であった。同じく自然の恩恵を受けながらも実り少ないものもある。「実るほど頭をたれる稲穂かな」と言う言葉があるが、私たちの社会においても稲穂を見習いたい。

(記・紺野榮重)

- | | | | |
|------|----|----|----|
| 議長 | 長 | 山本 | 幸男 |
| 委員 | 長 | 馬場 | 績 |
| 副委員長 | | 紺野 | 榮重 |
| 委員 | 佐藤 | 一男 | |
| 委員 | 横山 | 精一 | |
| 委員 | 勝山 | 一美 | |
| 委員 | 渡部 | 貞信 | |

みなさまの声をお聞かせ下さい。

編集委員会では、議会に対する町民の声を議会だよりに掲載したいと考えております。議会傍聴時の感想等なんでも結構ですでお声をお寄せ下さい。